



九州補給処長 兼ねて

目達原駐屯地司令

陸将補 竹内 網太郎



目達原駐屯地に所属する隊員及び御家族の皆様、また日頃よりご支援いただいている関係協力諸団体・OBの皆様、そして地域の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は、「復活」をテーマに、新型コロナウイルス禍の中、3年ぶりとなる目達原駐屯地記念行事を開催しました。開催にあたり、地域の皆様には、深い御理解と多大な御協力を賜わり、誠にありがとうございました。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は益々厳しくなっています。米中の戦略的競争が激しさを増す中、中国の軍事力強化とその活動の活発化、北朝鮮の不透明な動向に加え、国際秩序の根幹を揺るがすロシアによるウクライナ侵攻等、既存の秩序に対する挑戦への対応が求められています。

また、国内においても地震や台風・大雨などによる自然災害は各地で発生し続けており、常に万全の態勢を保持して対応する必要があります。

このように一層厳しさを増す安全保障環境の中、九州、南西地域の兵站の中核であり、北部九州における航空部隊の中核である目達原駐屯地の役割は益々重要となっております。各隊員はその使命を自覚し、皆様のご期待に応えられるよう本年も飽くなき向上心をもって日々鍛錬に励んでいく所存です。

西部方面隊は、昨年、日米共同統合演習や日米共同方面隊指揮所演習などの各種の日米共同訓練を行い、日米共同の実効性向上を図りました。目達原駐屯地所在部隊も、それぞれの訓練に参加し、多くの成果を挙げ日米共同の実効性向上に貢献することができました。

本年の干支は「卯」です。卯は、その跳躍する姿から「向上」「飛躍」を表すと言われています。目達原駐屯地として、西部方面隊の兵站の中核及び航空部隊の中核として、実戦的訓練を着実に実施して任務を完遂する能力の維持向上に努めて参ります。更に新型コロナウイルス感染症について、本年も引き続き感染対策を講じつつ、各行事が従来どおり開催できるよう進めていきたいと考えています。地域との連携を更に深めて、また、皆様とともに飛躍の年を迎えられるよう地域の各種行事に積極的にも参加して参ります。

本年が皆様におかれまして輝かしい年になりますよう心から祈り申し上げます。

駐屯地部隊長

新年の挨拶



西部方面後方支援隊長

1等陸佐 野口 恵一



明けましておめでとうございます。

目達原駐屯地の隊員、御家族の皆様、そして地域の皆様には、日頃から格別の御理解と御支援をいただき、誠にありがとうございます。

西部方面後方支援隊長は、平素より地域防災に係る駐屯地の取り組みに対し積極的に参画して物心両面の準備を万全にしており、万が一の事態に際しては九州補給処をはじめとする目達原駐屯地各部隊と連携し、災害派遣や郷土防衛等の任務完遂に邁進していく所存です。引き続き変わらぬ御支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心から祈念申し上げます。

九州補給処最先任上級曹長 兼ねて

目達原駐屯地最先任上級曹長 准陸尉 古賀 信雄



新年あけましておめでとうございます。

昨年中は駐屯地隊員、御家族の皆様、そして地域の皆様から御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本年も駐屯地司令を補佐し各隊の最先任上級曹長と連携して駐屯地の規律の維持、部隊間の融和を図り、任務に邁進していく所存であります。また准曹士の長として隊員とともに地域に根付いた貢献活動を行って参ります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

第1戦闘ヘリコプター隊長

1等陸佐 薄井 一



新年あけましておめでとうございます。

本年も、航空安全への誓いと祈りを新たにしつつ、より積極的に各種訓練等に取り組んで参りますので、引き続き御支援、御鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

西部方面ヘリコプター隊長

1等陸佐 溝部 保徳



明けましておめでとうございます。

本年も各種任務を完遂すべく、即応態勢を維持しつつ、更なる運用の実効性向上に努めて参りますので、引き続き御支援・御協力の程よろしくお願い申し上げます。

第4飛行隊長

2等陸佐 熊谷 幸親



新年あけましておめでとうございます。

北部九州4県を防衛・警備する第4師団唯一の飛行部隊として本年も佐賀の地で地域の安心、安全のため厳しい任務に対しても即応必遂すべく邁進して参ります。

鳥栖燃料支処長

2等陸佐 朝倉 智顕



昨年は、鎮西訓練にあわせ各部隊とともに野外や現地においても連携訓練や燃料支援をさせていただきましました。

本年も支処隊員、職員一同一致団結し安全確実な燃料支援に努めて参ります。引き続きよろしく申し上げます。

西部方面管制気象隊第1派遣隊長

1等陸尉 高垣 叙也



あけましておめでとうございます。

派遣隊は、これまで築き上げてきた信頼される部隊としての伝統を守りつつ、新たな創造への挑戦を重ね、組織一丸となつて航空安全の確保に寄与して参ります。本年も御支援・御協力の程よろしく申し上げます。

第321基地派遣中隊長

3等陸佐 大草 満治



明けましておめでとうございます。

本年も基地通信部隊の効率化を推進しつつ、「ユニザー第一」を胸に澁瀬颯爽と任務に邁進してまいりますので、本年も御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。

第134地区警務隊目達原派遣隊長

1等陸尉 塩浦 謙太



明けましておめでとうございます。

本年も駐屯地や隊員のため、警務隊として出来ることを最大限実行していきたいと思っておりますので、どうか本年もよろしく申し上げます。

西部方面システム通信群本部中隊

映像写真小隊空中伝送班長

3等陸尉 中溝 貴浩



新年あけましておめでとうございます。

本年も空中伝送班は、各人が日々進化する気持ち、またプロ意識を堅持し、常に任務完遂できるように能力向上に努めて参ります。本年も引き続き空中伝送班をよろしく申し上げます。

「駐屯地ツイッター発信中」

目達原駐屯地隊員の訓練行事・災害派遣情報など、満載！是非ご覧下さい。

ホームページ



ツイッター



@JGSDF_METABARU
#目達原駐屯地

1月現在
約9,600
フォロー中！

「フォロー」
「いいね」
お願いします。



九州補給処

「令和4年度軽武装走競技会」

九州補給処は、令和4年12月20日（火）、目達原駐屯地内に於いて、軽武装走競技会を実施しました。本競技会は、昭和46年から毎年実施されている九州補給処の伝統競技で、各隊員は軽武装（鉄帽・水筒装着）で指定の3kmコースを激走し、その時間を各部・各支処の平均記録で競う団体の部と、個人の部で行われました。各隊員は、団体優勝を目標として、日々練成に励み、競技会に臨みました。結果は、本年度も電計課が優勝し、見事7連覇を達成しました。



一斉にスタートする隊員達



見事7連覇した電計課



激走中の隊員達

西部方面後方支援隊

「令和4年度方面訓練検閲受閲」

西部方面後方支援隊は、令和4年9月22日（木）から10月8日（土）までの間、目達原及び那覇駐屯地、沖縄・那覇訓練場、十文字原演習場等において、令和4年度方面訓練検閲を受閲しました。当初、目達原駐屯地グラウンドにおいて、編成完結式及び隊容検査を行い、隷下各部隊長から受閲準備完了報告を受けた後方支援隊長は、任務遂行にあたり、『動け！』（全被支援部隊の為に、変化に対応せよ）を要望して隊員を鼓舞し、目達原駐屯地から鹿児島新港に次いで沖縄本島までの長距離機動の後、連日の猛暑に加え、突然の大雨等による各種困難を克服しつつ、沖縄本島の兵站拠点における指揮幕僚活動及び島しょ部への補給業務等に係る部隊と連携して整齊とを行い、南西における兵站支援任務を完遂しました。



隷下部隊長から報告を受ける後方支援隊長



方面総監に対する状況報告（那覇）



方面総監による現地確認（那覇）

「令和4年度日米共同統合演習（KS83）参加」

西部方面後方支援隊第105補給大隊は、令和4年11月1日（火）から11月25日（金）までの間、沖縄米軍基地キャンプキンザーにおいて、1個輸送小隊と共に補給弾薬大隊を編成し、KS83に参加しました。本訓練では米海兵隊と連携したコンテナの輸送及び積載・卸下、第15旅団隷下部隊に対する補給品交付等を行い、方面前進兵站基地における補給品の受領・輸送等に係わる一連の行動を演練し、練度向上を図りました。



日米の装備品を使用した補給品の積載（キャンプキンザー）



日米共同輸送（那覇駐屯地から出発する日米の車両）

第1戦闘ヘリコプター隊

「令和4年度日出生台演習場におけるヘリコプター射撃訓練」

第1戦闘ヘリコプター隊は、12月11日（日）から12月14日（水）の間、日出生台演習場においてAH-64Dによるヘリコプター射撃検定を実施し、操縦士の射撃練度を評価・判定するとともに、整備員の射撃支援能力の向上を図りました。射撃検定間は、一時強風に見舞われたものの、終始を通じて天候にも恵まれ、円滑に年内の射撃検定を完遂することができました。

西部方面隊唯一のヘリコプター火力戦闘部隊として、より一層作戦遂行能力を向上させるため、本年も戦闘ヘリコプター隊一丸となって隊務に邁進します。



AH-64Dの着陸を見守る隊員



射撃中のAH-64D

西部方面ヘリコプター隊

「第3回西部方面ヘリコプター隊格闘集合訓練」

西部方面ヘリコプター隊は、令和4年11月7日（月）から11月22日（火）までの間、第3回ヘリコプター隊格闘集合訓練を実施しました。本訓練は、格闘検定準特級の練度到達を目標に、基本動作、基礎技術及び応用技術を主要演練項目として、各隊の基幹要員を対象に実施しました。



格闘集合訓練に参加中の隊員

訓練開始に先立ち、教官要員に対して、最新の格闘教育訓練基準を徹底するとともに、認識の統一及び技法統制を図りました。訓練間は、教官及び練成者共に、真剣な眼差しで訓練に臨み、所望の成果を得ることができました。今後、実際の任務遂行場面で真に使える戦闘・戦技能力の向上に努めて参ります。

17 1
日 日
九 4
処 升
1 二
曹 原
中 銓
尾 持
百 正
年 吾



成人の抱負

九処総務部
相良 維吹
成人としての自覚を持ち、
これからも精一杯頑張ってい
きます。



九処調達会計部
土井 陶子
新成人として自分の行動に
責任を持ち、一人前の社会人
となるよう精進します。



九処調達会計部
中村 翔子
今まで支えてくださった
方々への感謝を忘れず、何事
にも挑戦していきたいと思
います。



九処補給部
中尾 明優花
成人としての自覚と責任を
持つて行動し、今まで支えて
くれた両親へ恩返しをしてい
きます。



九処補給部
渡邊 舞子
自分の言動に責任を持ち、
何事にも一生懸命頑張ります。



九処整備部
寺岡 真旺
明るく、元気に、真面目に、
楽しく仕事と遊びを両立す
る！



九処整備部
蒲生 準弥
二十歳になって、成人した
実感が少しずつ湧いており、
自覚と責任ある大人になりま
す。



九処整備部
松永 知恵
自分の言動に責任を持ち、
これからはもつと周りの人を
笑顔にさせる大人になる！



九処整備部
木戸川 愛菜
人生の節目とも言われる2
0歳、自分らしく何事も前向
きに精進し、ポテンシャルの
高い大人になります！



九処鳥栖燃料支処
中島 大翔
ここまで育ててくださった
方たちへの感謝を忘れず、積
極性を持った大人になれるよ
う日々精進します。



西後支106全般支援大隊
大童 風音
ここまで育てていただいた
両親やいろいろな方々に感謝
し、これからも頑張ってい
きたいです。



西後支106全般支援大隊
藤本 準士
成人者として、責任を自覚
し日々過ごしていきます。



西後支106全般支援大隊
吉本 太海
成人者として責任を持つて
日頃から過ごしていきたいと
思います。



西後支106全般支援大隊
井手 悠太郎
成人者として、切磋琢磨し
て生活を送っていきます。



西後支106全般支援大隊
藤吉 さくら
何事も前向きに取り組み、
言動に責任を持つて笑顔で過
ごしていきます！



西後支106全般支援大隊
神代 甚
新成人として自覚を持ち感
謝の気持ちを忘れず、何事
にも挑戦し続けられるよう努
力していきたいと思えます。



西後支106全般支援大隊
川崎 ナナ
成人者として、何事にも積
極的に挑み日々、進歩いたし
ます。



西後支106全般支援大隊
永本 菜采衣
成人者としての自覚と責任
感を持ち、感謝の気持ちを忘
れず過ごしていきます。



西後支106全般支援大隊
竹永 萌夏
成人者として、責任感を
持つて過ごしていきたいと思
います。



西後支105補給大隊
宮里 大樹
自衛官として必要な身体と
精神を鍛え、日々成長してい
けるように努力していきます。



西後支103弾薬大隊
田中 琉聖
成人者としての自覚と責任感
を持ち、いろいろな事に挑戦し
ていきたいです。



西後支本部付隊
大山 安輔
まだまだ頼りない自分です
が、大人として何事にも一生
懸命頑張ります。



西後支本部付隊
小郷 文暉
謙虚な姿勢を忘れずに、
チャレンジ精神で頑張ってい
きます。



戦闘ヘリ本部付隊
山本 直矢
社会人としての自覚を持ち、
人として成長していきたいで
す。



戦闘ヘリ第1飛行隊
竹本 隆真
格闘の部隊指導官になるた
め、陸曹候補生合格と体力検
定1級取得を目指し、日々努
力します。



戦闘ヘリ第1飛行隊
千住 蒼唯
愚直で誠実な自衛官を目指
し、一挙一動を正しくし、整
備員として奮闘できるよう努
力します。



戦闘ヘリ第1飛行隊
大曲 真央
品行方正で素晴らしい一人
前の自衛官となるために、目
的意識を持つて日々の業務に
励みます。



戦闘ヘリ第2飛行隊
鬼木 優吾
明るく元気に「考える輩」
であり続けます。



戦闘ヘリ第2飛行隊
川原 さくら
これからも自衛官として
日々精進していきたい、新しい事
に挑戦したいと思えます。



西方ヘリ本部付隊
金井 萌萌香
成人として、また自衛官と
しての自覚と責任を持ち、素
直な気持ちで日々精進してい
きます。



西方ヘリ第1飛行隊
林田 卓也
成人としての自覚と責任を
持ち、謙虚な姿勢で日々精進
していきます。



西方ヘリ第1飛行隊
坂本 海斗
成人としての自覚を持ち、部
隊に貢献できるように頑張っ
ていきます。



第4飛行隊
江水 良太
成人という人生の大きな節目を
元氣いっぱいむかえることがで
きました。二十年間お世話になっ
た両親をはじめ、沢山の方々に感
謝の気持ちを忘れずこれからも
日々精進していきます。



第4飛行隊
荒木 洗輝
成人を迎え大人の仲間入りをし、
今後は何事にもチャレンジ精神を
忘れずに努力していきたいです。
また、親をはじめお世話になっ
たすべての方々に感謝し、少しでも
恩返しできるように頑張ります。



第4飛行隊
貝田 龍貴
人生の節目を迎えられたことを
喜ばしく思います。感謝を忘れず、
これからも成長していきます。



二十歳成人者35名 成人おめでとう！